

令和元年度 第1回応急危険度判定士派遣部会 議事録

日 時 令和元年10月8日（火） 14:00～

場 所 OKBふれあい会館 4階 406小会議室

出席者 神山副会長 伊縫事業委員長 河尻 田中（茂）知久 若尾 牧野 林 栗本
中田 （※敬称略）

議題

1、備品確認

- ・別紙持ち物リストによる支給備品と自主備品の準備状況の確認
- ・部会員でなくなっても判定士としては残るので備品はそのまま支給する。よって備品には名前を記載すること。次に部会員へは新たに購入して配布

2、LINE グループ追加確認

- ・未参加者の追加設定
- ・LINE 未登録者はメールで流してはどうか？→緊急呼び出し時は回答までの時間が限られるので直電かショートメールで行う。携帯電話番号を確認しておく
- ・東濃の小出さんは若尾さんに LINE グループ登録を依頼

3、耐震補強講習会の開催について

- ・別紙の耐震達人塾について協議、とりあえず話をうかがう講演会を開催する
- ・講演会は産直住宅と共催する
- ・時期は11月末から12月でどうか先生へ確認する

4、ブロック塀点検調査

- ・現在の状況と調査告知の範囲
- ・今後もブロック点検は取り組んでいく、HPで閲覧出来るようにしておく
- ・建築防災協会にマニュアルが新しく出来
- ・ブロック点検の順番について、公平性を鑑み基本は支部単位ごとに順番とするが、各人の都合も考慮し都度交代等調整は可とする

5、応急危険度判定士実地訓練について

- ・実務能力向上のため訓練講習を依頼できないか？
- ・講習については実際の建物があればいつでもできるそう。なので解体前の建物で時間に余裕がある案件をみつけて開催を検討する。
- ・案件は解体業者に相談する？等各自気を付けておいて貰い情報提供依頼
- ・訓練講師は高橋元専務理事に依頼してはどうか？経験者である

6、罹災証明講習

- ・昨今の震災や台風での被害証明である罹災証明書の発行について当会で協力できることがある
- ・本来行政が行うものであるが災害の場合人数が不足し大変困っている
- ・そのことから地元行政から提携の依頼も過去にあった
- ・大阪建築士会が罹災証明マニュアルを策定した。煩雑な実務を円滑にする為の参考書
的書籍
- ・罹災証明を行うには何らかの講習を受ける必要があるが常時 OPEN に開催しているわけではない
- ・岐阜市へ相談したところ福祉課？が窓口で提携も前提に講習を行う可能性がありそう。
先方より連絡まちの状態（10/8）